
2025年 3 月期 第 2 四半期決算説明資料



株式会社 シーティーエス

証券コード：4345

2024年10月31日

目次

I．2025年3月期 第2四半期

- ① 決算概要
- ② セグメント概要
- ③ 進捗状況等
- ④ 連結財務諸表

II．中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）

III．参考資料

I . 2025年 3 月期 第 2 四半期

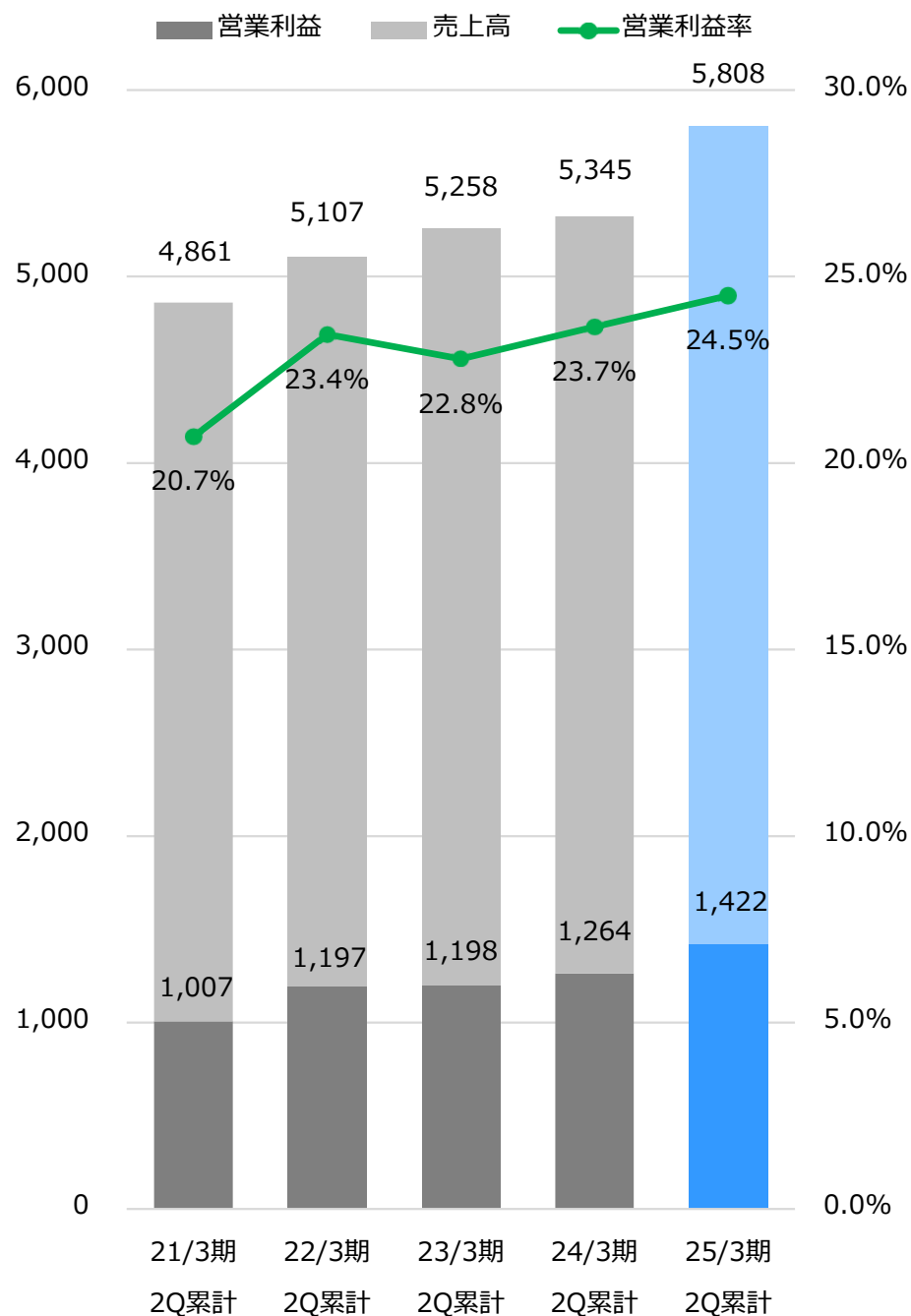
① 決算概要

全社損益概要① ① 2025年3月期 第2四半期決算概要

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	前期対比		
	2Q累計	2Q累計	増減額	前期比	コメント
売上高	5,345	5,808	462	108.7%	・既存顧客を中心に、DDS商品・サービスの受注が増加
売上総利益	2,671	2,895	223	108.4%	・付加価値の高いDDS事業のレンタル・サブスクリプションサービスの売上高の増加が寄与
(売上総利益率)	50.0%	49.9%	△0.1%	—	
販管費	1,407	1,473	66	104.7%	・処遇改善等による人件費の増加に加え、マーケティング活動を含む営業活動費用等が増加したことによるもの
営業利益	1,264	1,422	157	112.5%	
(営業利益率)	23.7%	24.5%	0.8%	—	
経常利益	1,247	1,408	160	112.9%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	833	949	115	113.9%	

全社損益概要② ① 2025年3月期 第2四半期決算概要



	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計	前期対比	
			増減額	前期比
売上高	5,345	5,808	462	108.7%
営業利益	1,264	1,422	157	112.5%
営業利益率	23.7%	24.5%	0.8%	—

▶ 売上高・営業利益・営業利益率いずれも
2Q累計で過去最高

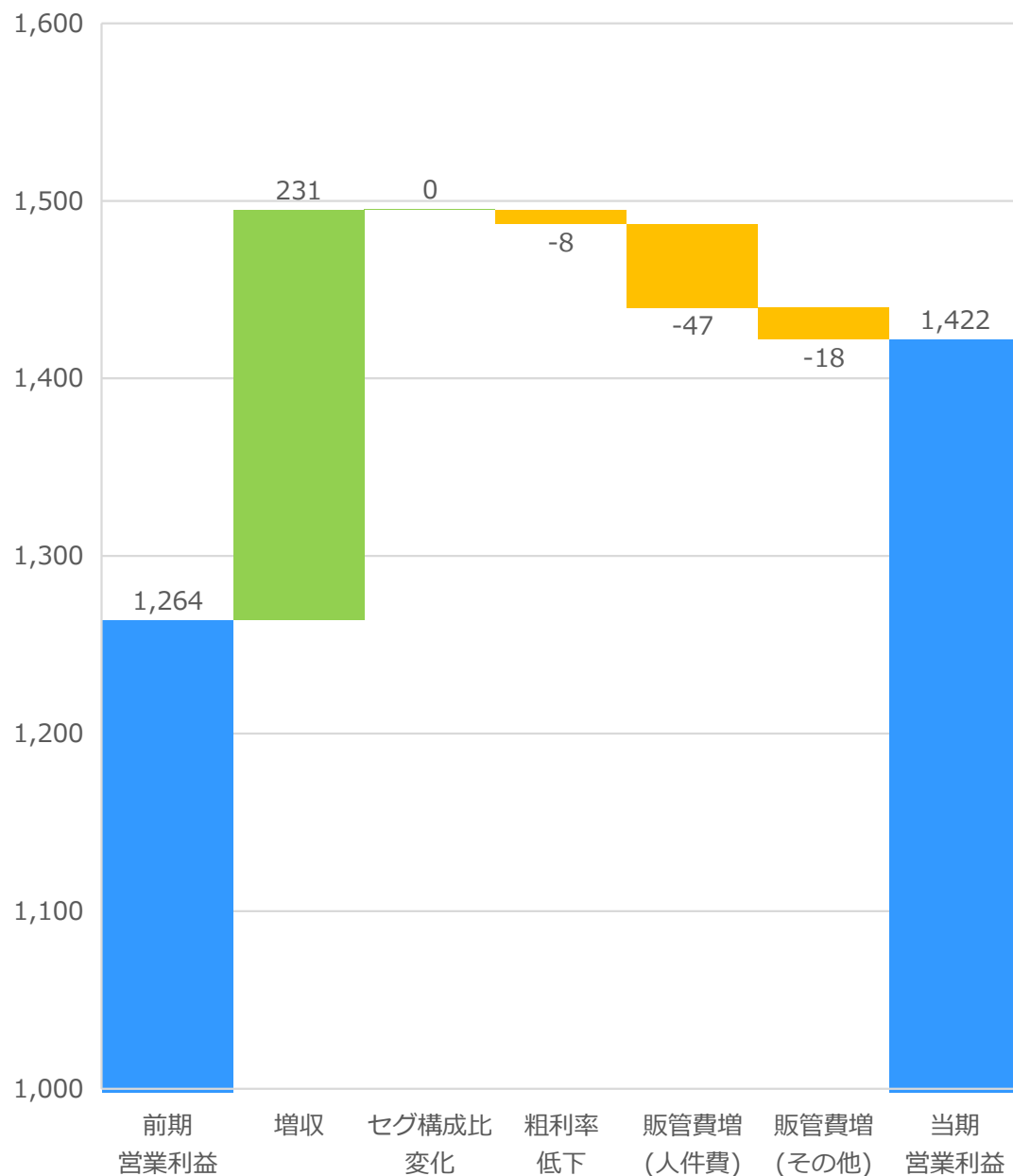
▶ 売上高は、DDS事業の商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が堅調に推移し増収

▶ 営業利益は、付加価値の高いDDS事業のレンタル等の売上高が順調に推移し増益

全社損益概要③ ① 2025年3月期 第2四半期決算概要

■ 営業利益の増加要因（グループ全体）

単位：百万円



増収

DDS事業による取引拡大とともに、既存顧客を中心に受注が堅調に推移したことによるもの

粗利率低下

SMS事業において販売案件が増加し、レンタル売上の割合が低下したことによるもの

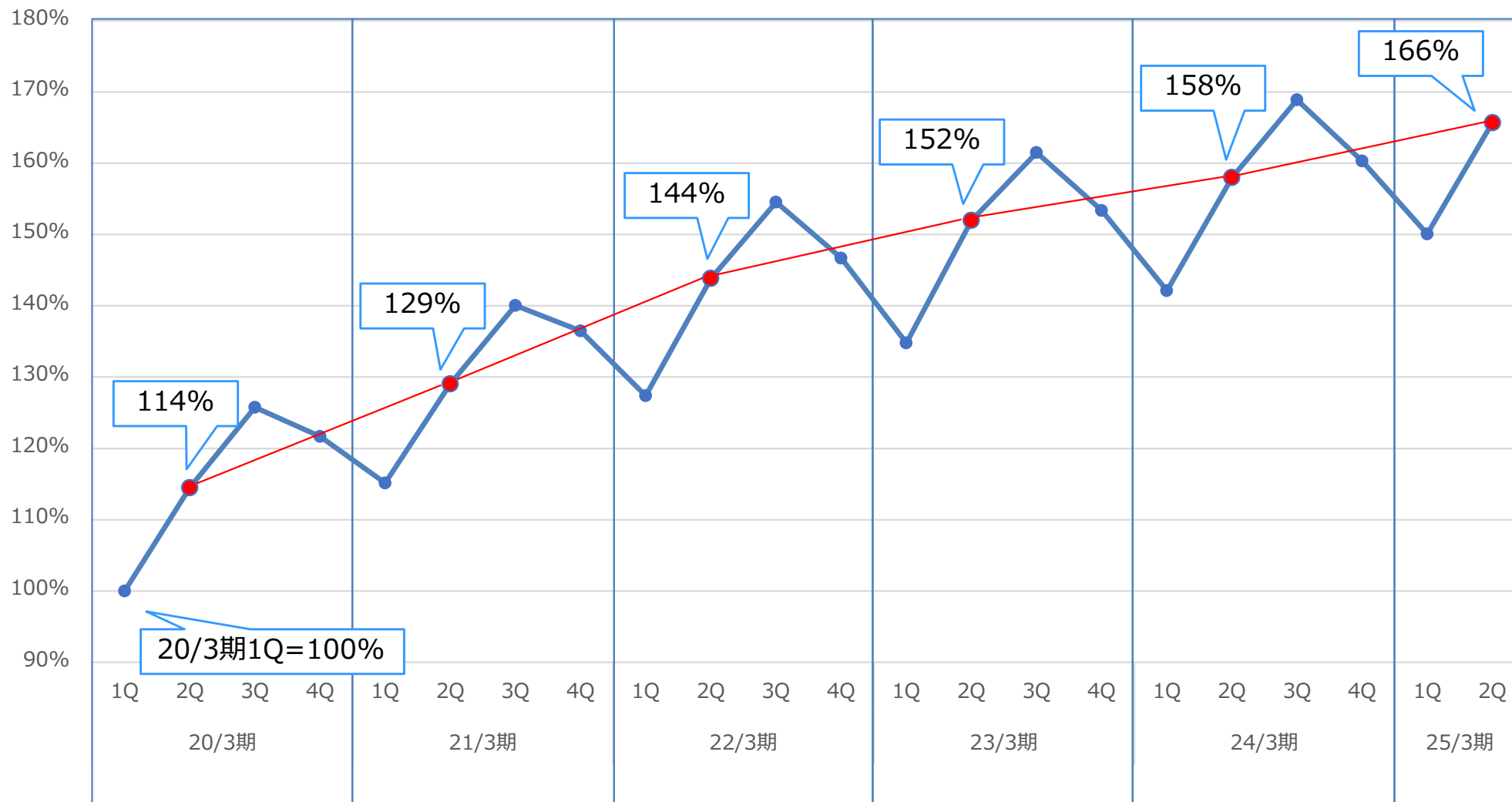
販管費増加

処遇改善等による人件費の増加に加え、マーケティング活動を含む営業活動費用等の増加によるもの

取引現場数推移 ① 2025年3月期 第2四半期決算概要

▶ DDS商品・サービスの営業に注力した結果、取引現場数も堅調に推移

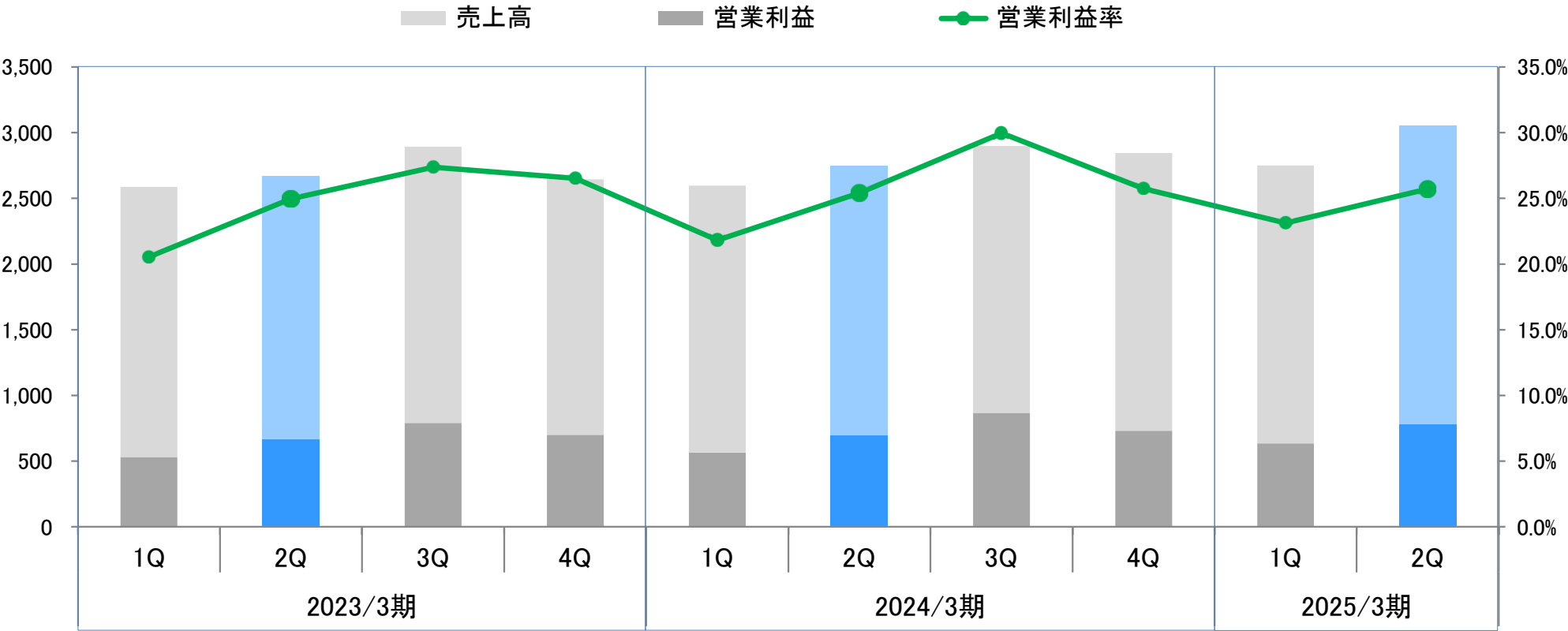
■ 取引現場数推移(請求書発行ベース)



全社損益推移 ① 2025年3月期 第2四半期決算概要

単位：百万円

	2023/3期				2024/3期				2025/3期		前期対比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	前期比
売上高	2,587	2,670	2,894	2,644	2,597	2,748	2,898	2,846	2,751	3,056	308	111.2%
営業利益	531	666	791	701	566	698	868	732	636	785	87	112.6%
営業利益率	20.6%	25.0%	27.4%	26.5%	21.8%	25.4%	30.0%	25.7%	23.1%	25.7%	0.3%	—



貸借対照表概要 ① 2025年3月期 第2四半期決算概要

単位：百万円

	2024/3期 3月末	2025/3期 9月末	増減額	主な増減内容
流動資産	9,536	8,202	△1,334	・現金及び預金：△1,571百万円 ・受取手形及び売掛金：+266百万円 ・棚卸資産：△137百万円 ・その他流動資産：+107百万円
固定資産	7,174	8,510	1,336	・有形固定資産：△35百万円 ・無形固定資産：△5百万円 ・その他投資：△49百万円 ・投資有価証券：+1,428百万円
資産合計	16,710	16,713	2	
流動負債	2,926	3,003	77	・買掛金：+41百万円 ・未払法人税等：△15百万円 ・その他流動負債：+51百万円
固定負債	1,553	1,502	△51	・リース債務：△9百万円 ・その他固定負債：△41百万円
負債合計	4,479	4,506	26	
株主資本	11,385	11,466	81	・四半期純利益計上：+949百万円 ・自己株式取得：△388百万円 ・配当金支払：△529百万円
その他の包括利益累計額	845	740	△105	・その他有価証券評価差額金：△105百万円
純資産合計	12,230	12,206	△24	
負債・純資産合計	16,710	16,713	2	

自己資本比率	73.2%	73.0%	△0.2%	
--------	-------	-------	-------	--

キャッシュ・フロー計算書概要 ① 2025年3月期 第2四半期決算概要

単位：百万円

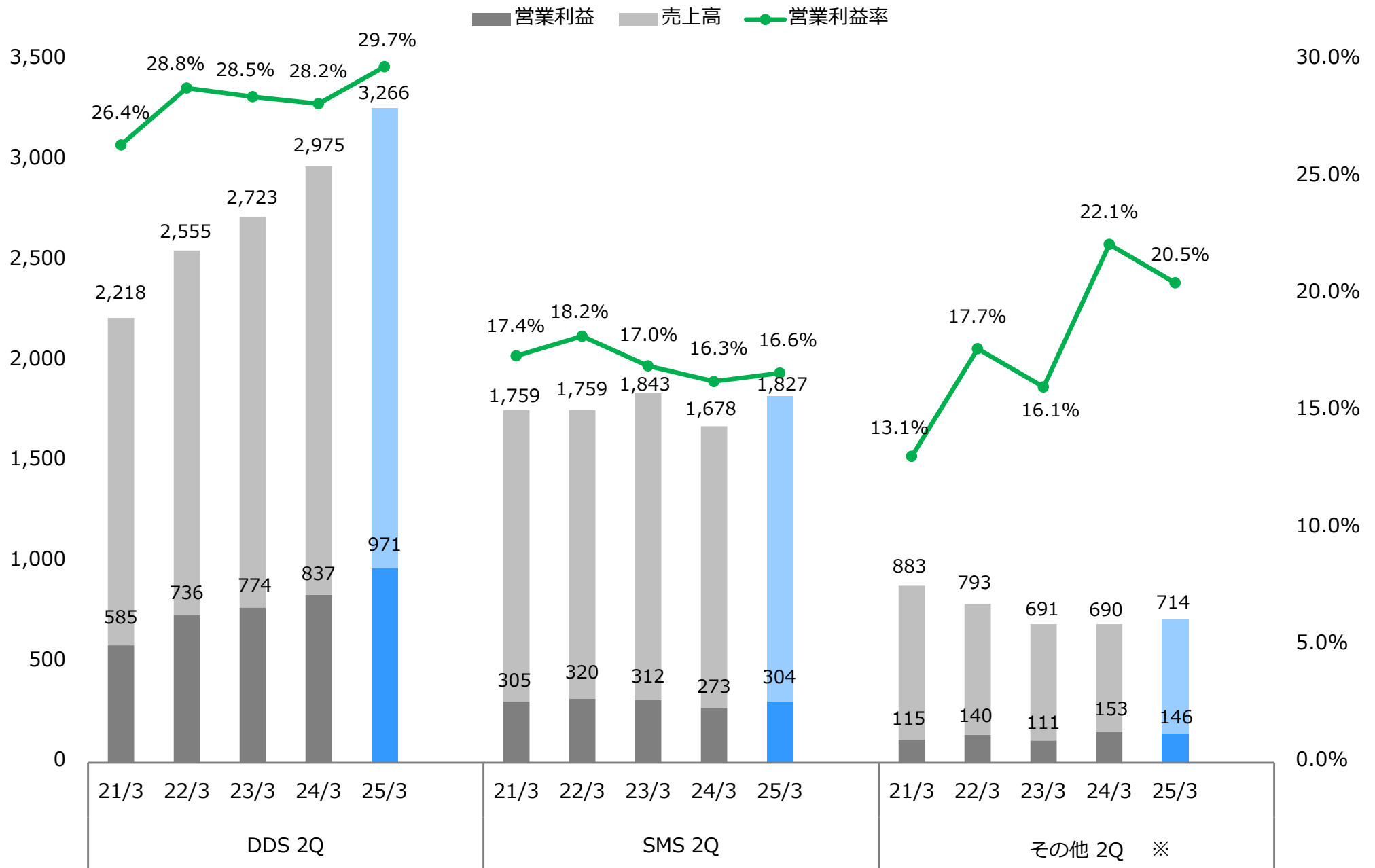
	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	2025/3期2Qの主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	1,344	1,372	・税金等調整前四半期純利益：+1,408百万円 ・減価償却費：+497百万円 ・持分法による投資損益：+51百万円 ・売上債権の増減額（△は増加）：△84百万円 ・棚卸資産の増減額（△は増加）：+137百万円 ・仕入債務の増減額（△は減少）：△73百万円 ・法人税等の支払額：△438百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 400	△ 1,646	・投資有価証券の取得による支出：△1,578百万円 ・有形固定資産の取得による支出：△46百万円 ・無形固定資産の取得による支出：△19百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 902	△ 1,296	・自己株式の取得による支出：△338百万円 ・リース債務の返済による支出：△429百万円 ・配当金の支払額：△529百万円
現金及び 現金同等物の期末残高	6,314	5,381	

I . 2025年3月期 第2四半期

② セグメント概要

セグメント別損益概要① ②2025年3月期 第2四半期セグメント概要

単位：百万円



※「その他」には「建設現場向けユニットハウス等のレンタル及び販売、道路標示及び標識の工事等」が含まれております。

セグメント別損益概要② ②2025年3月期 第2四半期セグメント概要

■売上高

単位：百万円

	2024/3期 2Q累計		2025/3期 2Q累計		前期対比		
					増減額	前期比	コメント
		(構成比)		(構成比)			
DDS事業	2,975	55.7%	3,266	56.2%	290	109.8%	・統合的なサービス提案活動に基づく既存顧客からの受注が順調に推移し増収
SMS事業	1,678	31.4%	1,827	31.5%	148	108.9%	・レンタルについては堅調に推移し、販売についても案件が増加したことにより増収
その他 ※	690	12.9%	714	12.3%	23	103.5%	
売上高合計	5,345	100.0%	5,808	100.0%	462	108.7%	

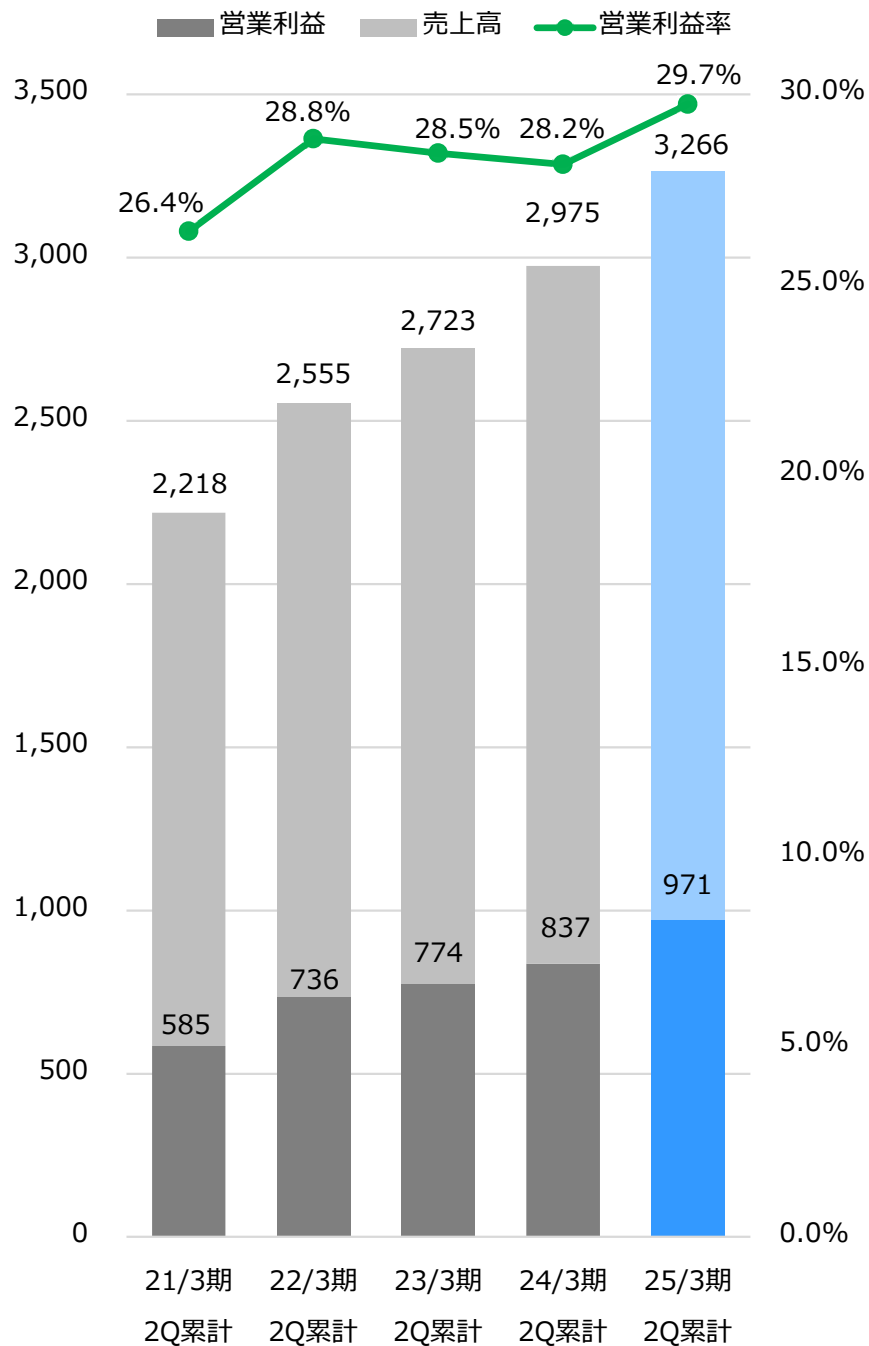
■営業利益

単位：百万円

	2024/3期 2Q累計		2025/3期 2Q累計		前期対比		
					増減額	前期比	コメント
		(構成比)		(構成比)			
DDS事業	837	66.3%	971	68.3%	133	115.9%	・処遇改善等により販管費の増加があったものの、レンタル・サブスクリプションサービスの売上高の伸長が寄与し増益
SMS事業	273	21.6%	304	21.4%	30	111.2%	・処遇改善等により販管費の増加があったものの、売上総利益の増加が大きく増益
その他 ※	153	12.1%	146	10.3%	△6	95.8%	
営業利益合計	1,264	100.0%	1,422	100.0%	157	112.5%	

※「その他」には「建設現場向けユニットハウス等のレンタル及び販売、道路標示及び標識の工事等」が含まれております。

デジタルデータサービス事業の損益概要① ②2025年3月期 第2 四半期セグメント概要



単位：百万円

	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計	前期対比	
			増減額	前期比
売上高	2,975	3,266	290	109.8%
営業利益	837	971	133	115.9%
営業利益率	28.2%	29.7%	1.5%	—

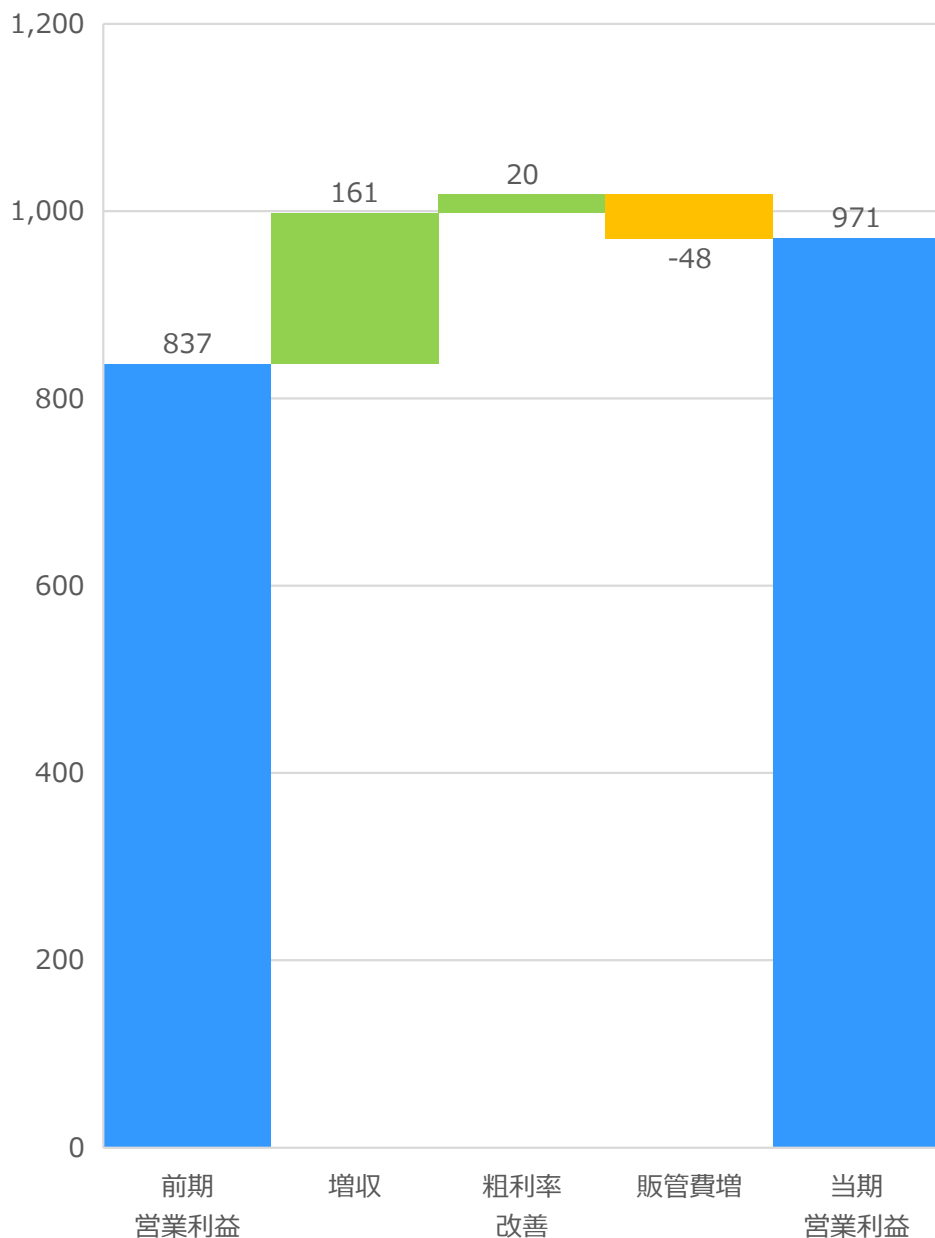
▶ 売上高・営業利益・営業利益率いずれも2Q累計で過去最高、近年の中では増加が鮮明

▶ 統合的なサービス提案活動に努めた結果、既存顧客を中心に受注が順調に推移するとともに、BtoB取引も徐々に拡大し、増収

▶ 処遇改善等により販管費が増加したものの、レンタル等主力の売上高伸長が寄与し増益

■ 営業利益の増加要因(デジタルデータサービス事業)

単位：百万円



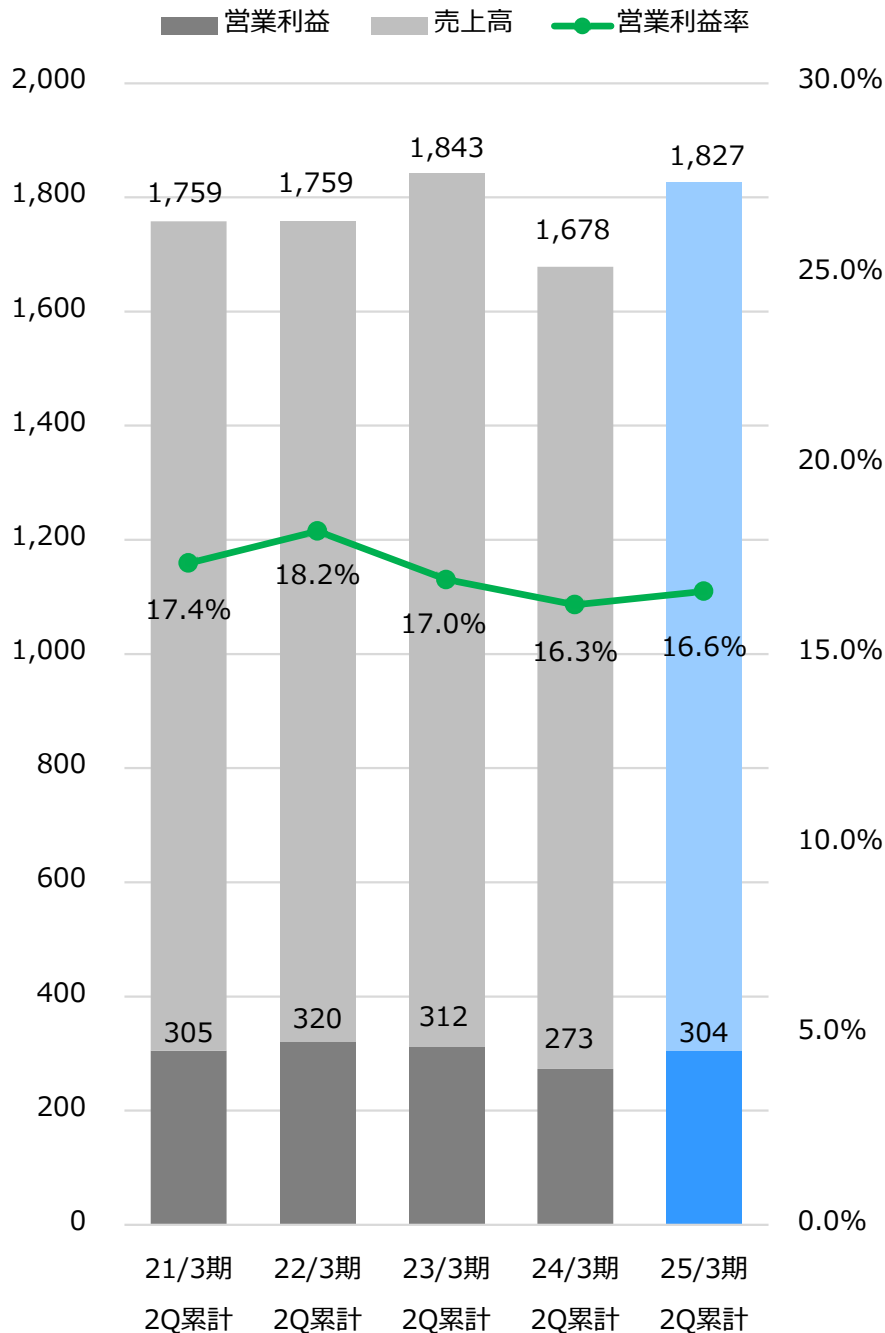
増収・粗利率改善

継続して統合的なサービス提案活動に努めた結果、BtoB取引の拡大もあり、既存顧客を中心に受注が順調に推移し増収

販管費増加

処遇改善による人件費の増加及び営業活動費用の増加等によるもの

測量計測システム事業の損益概要① ②2025年3月期 第2四半期セグメント概要



単位：百万円

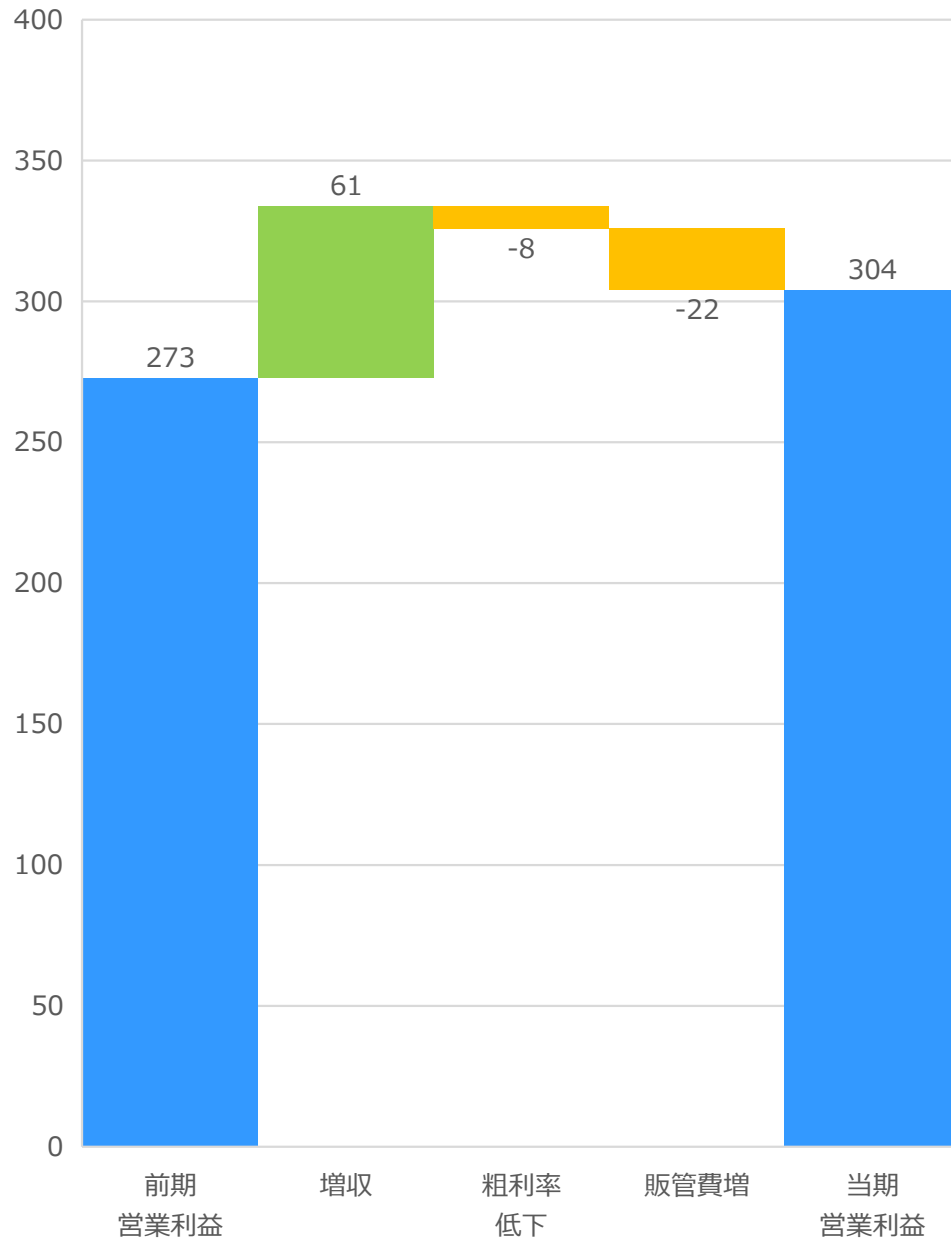
	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計	前期対比	
			増減額	前期比
売上高	1,678	1,827	148	108.9%
営業利益	273	304	30	111.2%
営業利益率	16.3%	16.6%	0.3%	—

▶ DDS事業による取引基盤の拡大に伴い、本部主導のマーケティング活動の効果もあって、レンタルが堅調に推移するとともに販売案件も増加し、増収

▶ 処遇改善により人件費が増加するも、取引基盤の拡大が営業活動に寄与したこともあり、増益

■ 営業利益の増加要因(測量計測システム事業)

単位：百万円



増収

取引基盤の拡大・マーケティング活動等により、主に販売案件が増加したことによるもの

粗利率低下

販売売上の増加に伴い、相対的にレンタル売上の割合が低下したことによるもの

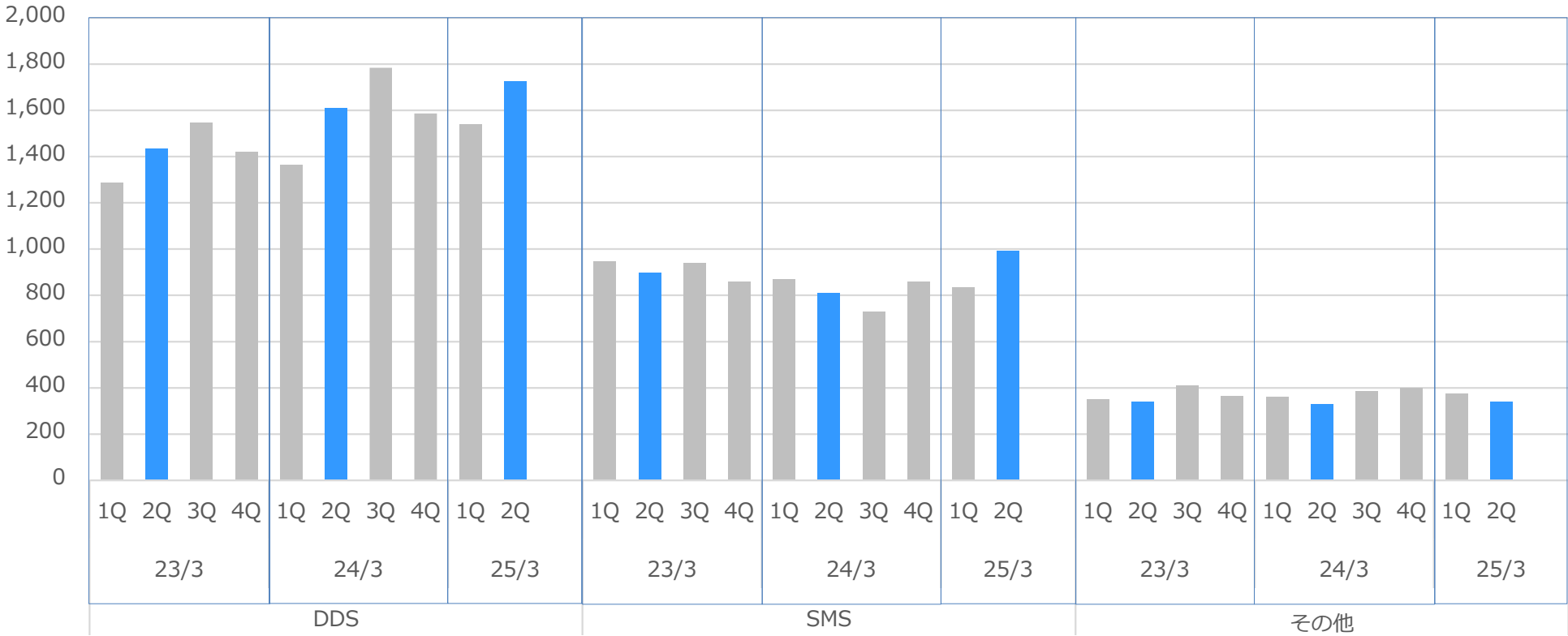
販管費増加

処遇改善等により人件費が増加したことによるもの

セグメント別売上高推移 ②2025年3月期 第2四半期セグメント概要

単位：百万円

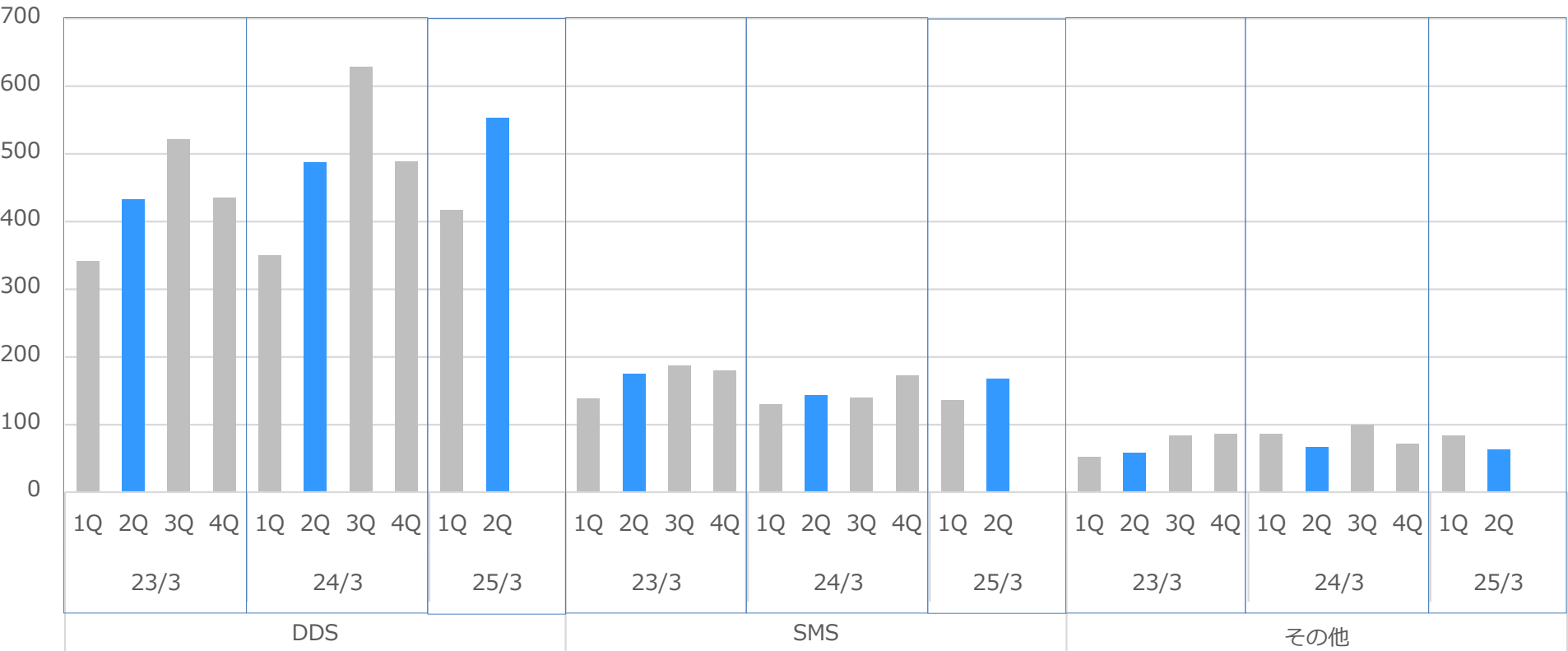
	2023/3期				2024/3期				2025/3期		前期対比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	前期比
DDS事業	1,288	1,434	1,545	1,420	1,365	1,610	1,784	1,587	1,540	1,725	114	107.1%
SMS事業	947	896	938	859	870	808	729	858	835	991	183	122.7%
その他	351	340	410	363	361	329	385	399	375	339	10	103.1%
売上高合計	2,587	2,670	2,894	2,644	2,597	2,748	2,898	2,846	2,751	3,056	308	111.2%



セグメント別営業利益推移 ②2025年3月期 第2四半期セグメント概要

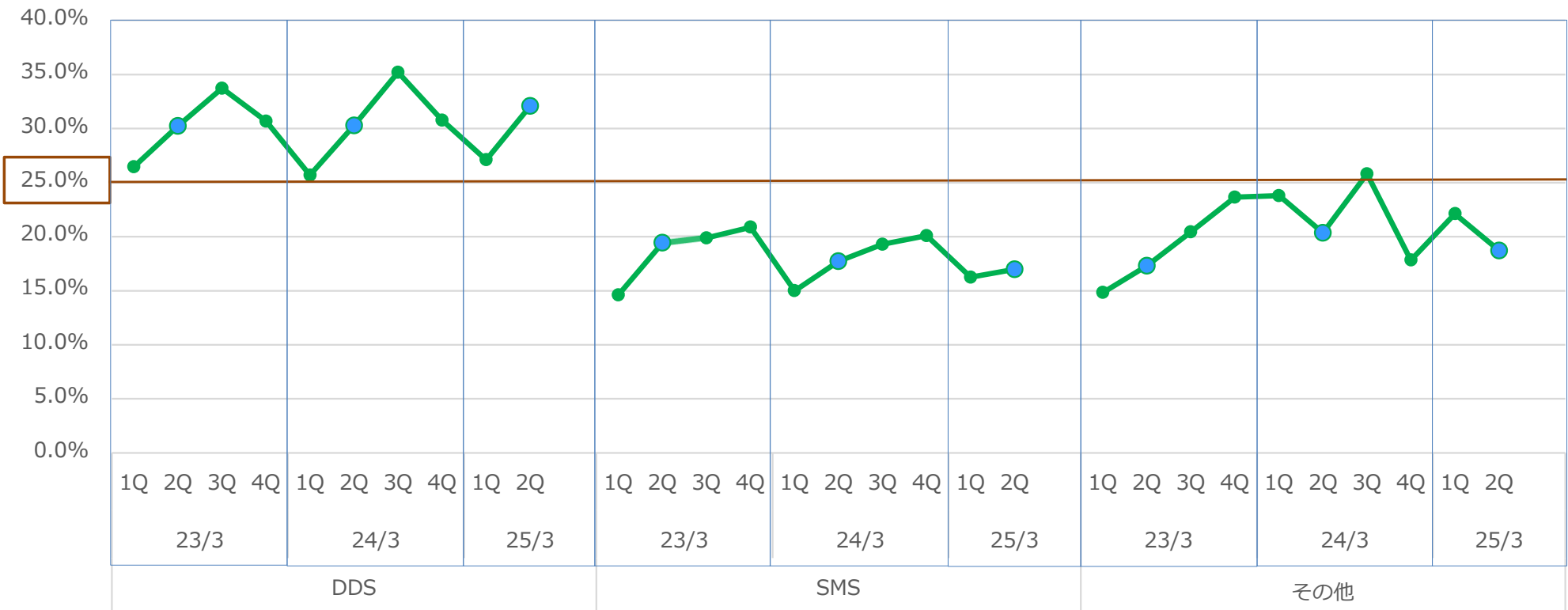
単位：百万円

	2023/3期				2024/3期				2025/3期		前期対比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	前期比
DDS事業	341	433	521	435	350	487	628	488	417	553	66	113.5%
SMS事業	138	174	186	179	130	143	140	172	135	168	25	117.6%
その他	52	58	83	86	86	66	99	71	83	63	△3	94.8%
営業利益合計	531	666	791	701	566	698	868	732	636	785	87	112.6%



セグメント別営業利益率推移 ②2025年3月期 第2 四半期セグメント概要

	2023/3期				2024/3期				2025/3期		前期対比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額
DDS事業	26.5%	30.2%	33.7%	30.7%	25.7%	30.3%	35.2%	30.8%	27.1%	32.1%	1.8%
SMS事業	14.6%	19.4%	19.9%	20.9%	15.0%	17.7%	19.3%	20.1%	16.2%	17.0%	△0.7%
その他	14.8%	17.3%	20.4%	23.7%	23.8%	20.4%	25.8%	17.8%	22.1%	18.7%	△1.6%
営業利益率合計	20.6%	25.0%	27.4%	26.5%	21.8%	25.4%	30.0%	25.7%	23.1%	25.7%	0.3%



I . 2025年 3 月期 第 2 四半期

③ 進捗状況等

前期実績と当期計画対比 ③進捗状況等

単位：百万円

	2Q累計				通期			
	2024/3期 実績	2025/3期 計画	前期対比		2024/3期 実績	2025/3期 計画	前期対比	
			増減額	前期比			増減額	前期比
DDS事業	2,975	—	—	—	6,348	7,300	951	115.0%
SMS事業	1,678	—	—	—	3,266	3,300	33	101.0%
その他	690	—	—	—	1,475	1,400	△75	94.9%
売上高合計	5,345	5,750	404	107.6%	11,090	12,000	909	108.2%
営業利益	1,264	1,320	55	104.4%	2,865	3,000	134	104.7%
(営業利益率)	23.7%	23.0%	△0.7%	—	25.8%	25.0%	△0.8%	—
経常利益	1,247	1,250	2	100.2%	2,785	2,950	164	105.9%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	833	840	6	100.8%	1,858	1,980	121	106.5%

進捗状況(中間・通期) ③進捗状況等

▶ 計画値について、公表時点では中間（2Q累計）・通期ともに期首予想の通りです。

単位：百万円

	2025/3期実績 2Q累計	2025/3期計画 2Q累計	進捗率	2025/3期計画 通期	進捗率
DDS事業	3,266	—	—	7,300	44.7%
SMS事業	1,827	—	—	3,300	55.4%
その他	714	—	—	1,400	51.0%
売上高合計	5,808	5,750	101.0%	12,000	48.4%
営業利益	1,422	1,320	107.7%	3,000	47.4%
(営業利益率)	24.5%	23.0%	—	25.0%	—
経常利益	1,408	1,250	112.7%	2,950	47.7%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	949	840	113.0%	1,980	47.9%

配当予想 ③進捗状況等

▶ 中間・通期ともに期首予想の通りです。

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
2024年3月期(実績)	10.0円	12.5円	22.5円
2025年3月期(実績)	12.5円		
2025年3月期(予想)		12.5円	25.0円

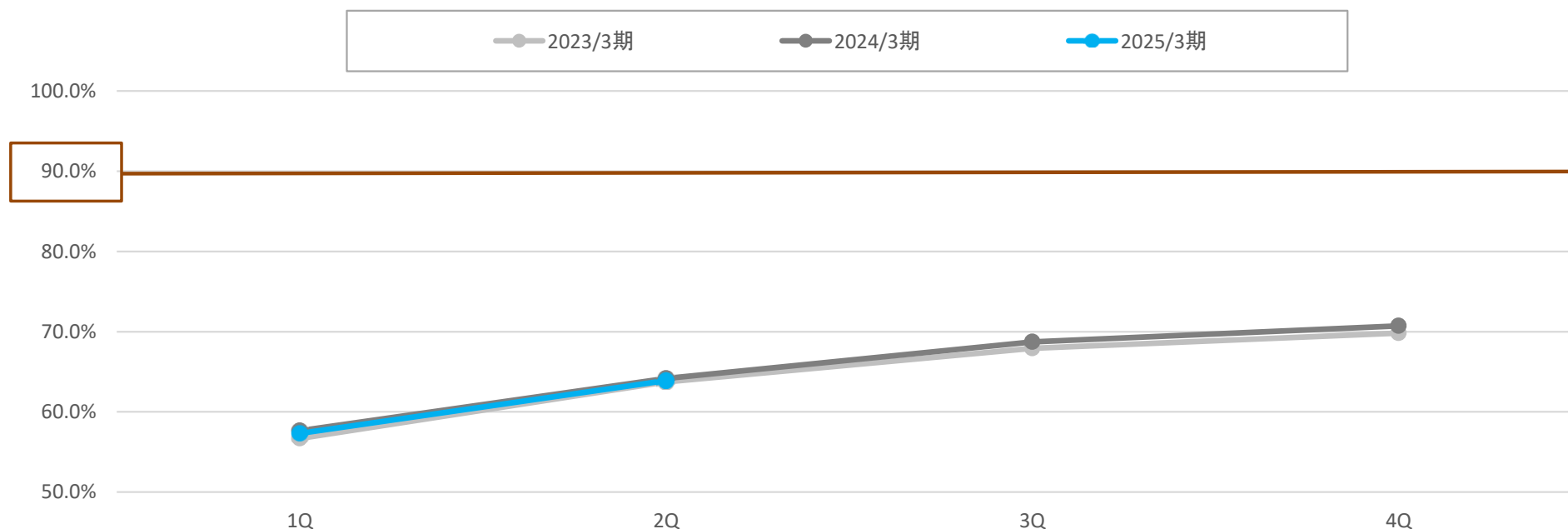
リピート率の状況 ③進捗状況等

▶ 中期経営計画において、リピート率90%を目標に活動中。

	1Q	2Q	3Q	4Q
2025/3期	57.3%	63.9%		
2024/3期	57.7%	64.3%	68.7%	70.7%
2023/3期	56.7%	63.8%	68.0%	69.9%

※リピート率 = 前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数 ÷ 前期取引があった現場代理人数

※リピート率の計算に関して、分子である「前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数」につきましては当期累計実績を参照しているのに対して、分母である「前期取引があった現場代理人数」につきましては、前年通期の実績を参照しておりますので、リピート率は経過とともに高まっていく見込みです。



I . 2025年3月期 第2四半期

④ 連結財務諸表

貸借対照表（負債及び純資産の部）

④ 連結財務諸表

単位：百万円

	2024/3 期末 (2024年3月31日)		2025/3 期 第2四半期末 (2024年9月30日)		前期末対比 増減額
		(構成比)		(構成比)	
・現金及び預金	6,952	41.6%	5,381	32.2%	△ 1,571
・受取手形及び売掛金	1,749	10.5%	2,016	12.1%	266
・棚卸資産	472	2.8%	334	2.0%	△ 137
・その他	365	2.2%	472	2.8%	107
・貸倒引当金	△3	△0.0%	△2	0.0%	0
流動資産合計	9,536	57.1%	8,202	49.1%	△ 1,334
・リース資産	1,776	10.6%	1,740	10.4%	△ 35
・その他	1,810	10.8%	1,810	10.8%	0
有形固定資産合計	3,586	21.5%	3,551	21.2%	△ 35
無形固定資産合計	147	0.9%	141	0.8%	△ 5
・投資有価証券	3,180	19.0%	4,608	27.6%	1,428
・その他	267	1.6%	217	1.3%	△ 49
・貸倒引当金	△8	△0.0%	△8	-0.1%	△ 0
投資その他の資産合計	3,439	20.6%	4,818	28.8%	1,378
固定資産合計	7,174	42.9%	8,510	50.9%	1,336
資産合計	16,710	100.0%	16,713	100.0%	2

貸借対照表（負債及び純資産の部）

④連結財務諸表

単位：百万円

	2024/ 3 期末 (2024年3月31日)		2025/ 3 期 第 2 四半期末 (2024年9月30日)		前期末対比 増減額
		(構成比)		(構成比)	
・ 買掛金	641	3.8%	683	4.1%	41
・ 未払法人税等	492	2.9%	477	2.9%	△ 15
・ その他	1,792	10.7%	1,843	11.0%	51
流動負債合計	2,926	17.5%	3,003	18.0%	77
・ リース債務	1,038	6.2%	1,028	6.2%	△ 9
・ その他	515	3.1%	473	2.8%	△ 41
固定負債合計	1,553	9.3%	1,502	9.0%	△ 51
負債合計	4,479	26.8%	4,506	27.0%	26
・ 資本金	3,000	18.0%	3,000	18.0%	0
・ 利益剰余金	9,107	54.5%	8,503	50.9%	△ 604
・ 自己株式	△722	△4.3%	△36	△0.2%	685
株主資本合計	11,385	68.1%	11,466	68.6%	81
・ その他有価証券評価差額金	845	5.1%	740	4.4%	△ 105
その他の包括利益累計額合計	845	5.1%	740	4.4%	△ 105
純資産合計	12,230	73.2%	12,206	73.0%	△ 24
負債純資産合計	16,710	100.0%	16,713	100.0%	2

損益計算書 ④連結財務諸表

単位：百万円

	2024/ 3 期 第 2 四半期 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)		2025/ 3 期 第 2 四半期 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)		前期比
		(構成比)		(構成比)	
売上高	5,345	100.0%	5,808	100.0%	108.7%
売上原価	2,673	50.0%	2,912	50.1%	108.9%
売上総利益	2,671	50.0%	2,895	49.9%	108.4%
販売費及び一般管理費	1,407	26.3%	1,473	25.4%	104.7%
営業利益	1,264	23.7%	1,422	24.5%	112.5%
営業外収益	60	1.1%	58	1.0%	97.1%
・ 受取配当金	58		55		
・ その他	2		3		
営業外費用	77	1.4%	72	1.3%	93.8%
・ 支払利息	21		20		
・ 持分法による投資損失	56		51		
経常利益	1,247	23.3%	1,408	24.3%	112.9%
税金等調整前四半期純利益	1,247	23.3%	1,408	24.3%	112.9%
法人税等	414	7.8%	459	7.9%	110.9%
・ 法人税、住民税及び事業税	409		454		
・ 法人税等調整額	4		5		
四半期純利益	833	15.6%	949	16.3%	113.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	833	15.6%	949	16.3%	113.9%

Ⅱ．中期経営計画

2024年3月期 ～ 2026年3月期

- ▶ 『ハードを主体としたITインフラのレンタル企業』から、『データ・情報関連サービスを統合的に提供し（サイトアシストパッケージ）、建設現場の業務を支援する建設ICTの専門企業』へ変身する

■ 建設市場開拓

□ 何を

1. サイトアシストパッケージの普及（建設市場）

□ どこへ

1. 全国の地場ゼネコン ターゲット 約2,600社

※年間の最低元請施工現場数で10現場以上を見込める企業が対象

□ どのように

1. 営業部長による、顧客キーマンへの定期訪問による顧客基盤の構築推進（BtoB）
2. 支店営業による、現場キーマンへの水平展開による効率的な顧客開拓（BtoC）
3. マーケティング・インサイドセールス・カスタマーサクセス機能の強化

■ 新市場開発

□ どこへ

1. 官公庁市場の開拓

□ 何を

1. クラウド映像サービス一式
(ネットワークカメラ、通信・ネットワーク、クラウド録画)

□ どのように

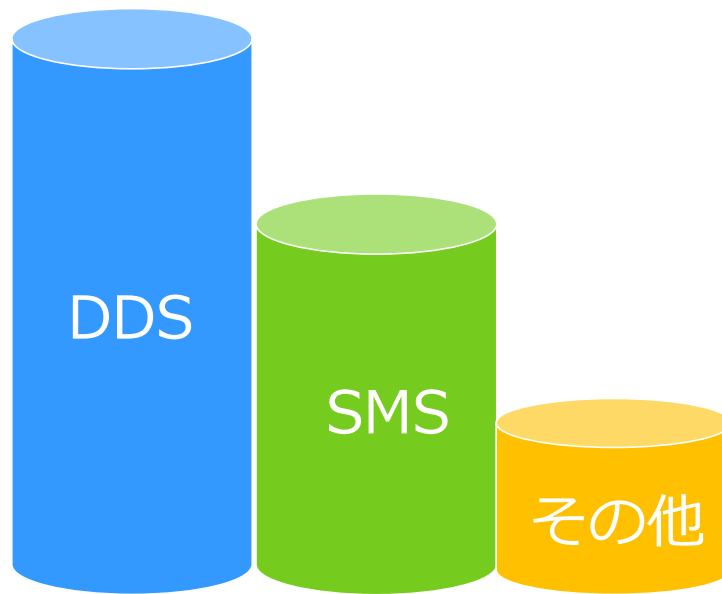
1. 簡易型河川監視カメラの入替・増設
2. 河川管理部署から道路・観光等への水平展開

中期経営計画 — 中期経営方針（どのように） —

▶ DDS事業により、効率的に顧客開拓・顧客基盤の構築を推進

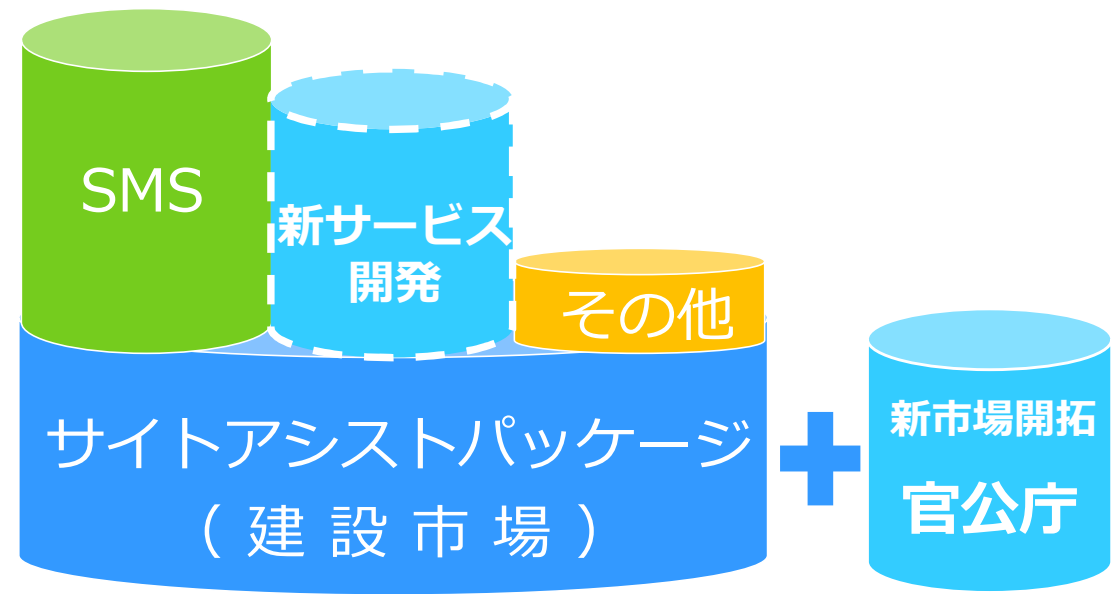
【イメージ図】

■ 従来



DDS・SMS・SHを
並行で事業展開

■ 中期経営計画での取り組み



DDS事業・SAパッケージをベースに展開し、
①顧客特性に応じたサービスを上乘せする
②新市場の開拓⇒官公庁向けサービス強化

中期経営計画 — 中期経営目標（セグメント別売上目標） —

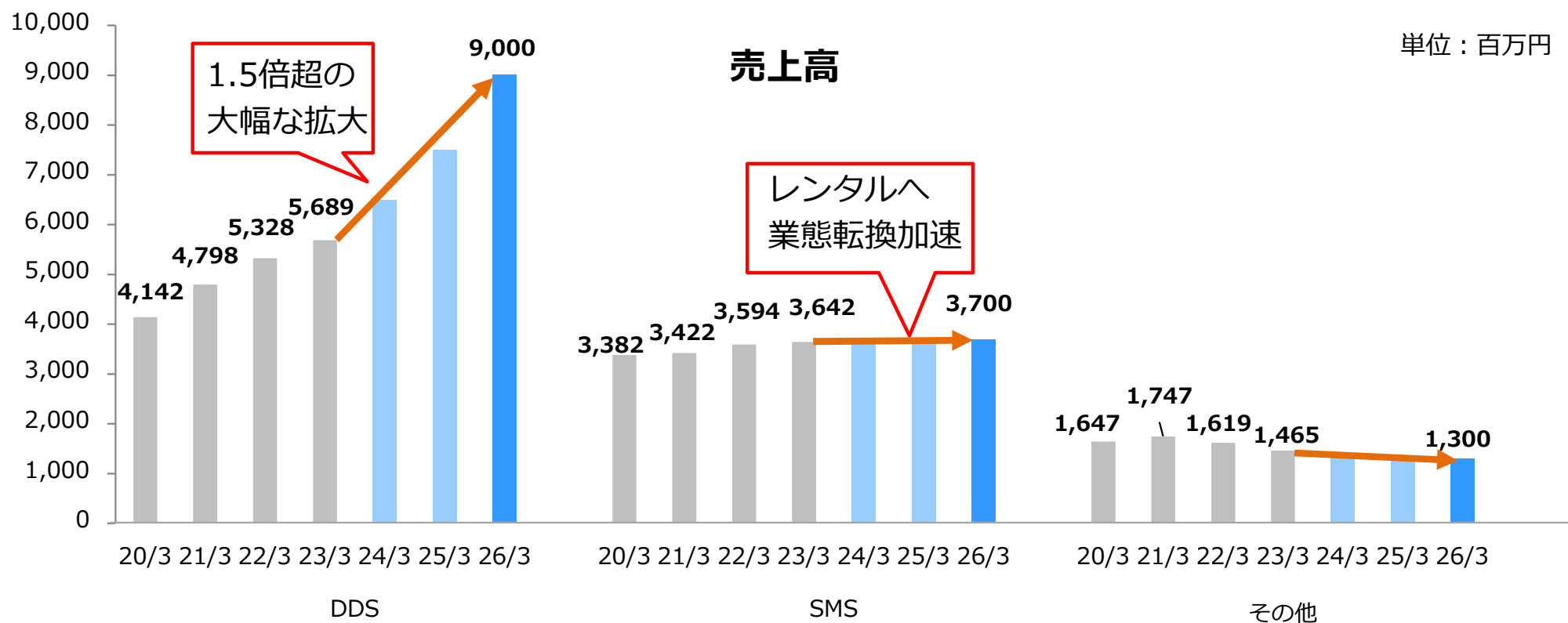
▶ DDS事業を中心とした業績の拡大を図る

単位：百万円

	2023/3期
	実績
DDS事業	5,689
SMS事業	3,642
その他（※）	1,465
売上高合計	10,797

2026/3期	2023/3期対比	
目標値	増減額	増減率
9,000	3,310	158.2%
3,700	57	101.6%
1,300	△165	88.7%
14,000	3,202	129.7%

※今回策定いたしました中期経営計画より、D D S事業への注力に伴う重要性の低下を想定し、従来のS H事業につきましては、セグメント上「その他」へ変更しております。その結果、「その他」には「S H事業、道路標示及び標識の工事等」が含まれております。



中期経営計画 — 中期経営目標 —

- ▶ 中期経営方針に基づき、2026年3月期において以下の目標を達成すべく事業を推進

売上高	営業利益	営業 利益率	ROE	リピート率※
140億円 2023年3月期比 +30%	36億円 2023年3月期比 +30%	25%超	20%超	90%超

※リピート率は、直接的なユーザーである現場代理人を対象に、下記の計算式で算出しております。

$$\text{リピート率} = \frac{\text{前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数}}{\text{前期取引があった現場代理人数}}$$

サイトアシストパッケージについて

- ▶ サイトアシストパッケージとは
現場情報共有プラットフォーム(SAダッシュボード)、現場情報関連
コンテンツ、現場支援室構築サービスの3つをパッケージで提供

① 現場情報共有プラットフォーム (SAダッシュボード)



② 現場情報関連コンテンツ



③ 現場支援室構築サービス





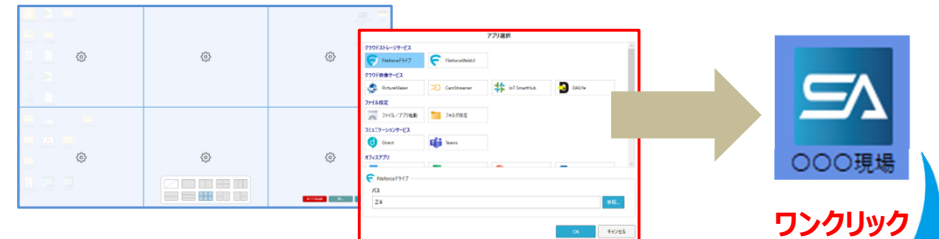
① 現場情報共有プラットフォーム (SAダッシュボード)

お客様が業務支援に必要な情報を1画面に統合化、ボタン1つで情報にアクセスし、瞬時に画面に表示させ、データや情報の検索の手間を大幅に削減します。

①様々な画面レイアウトを選択し、必要な情報を統合



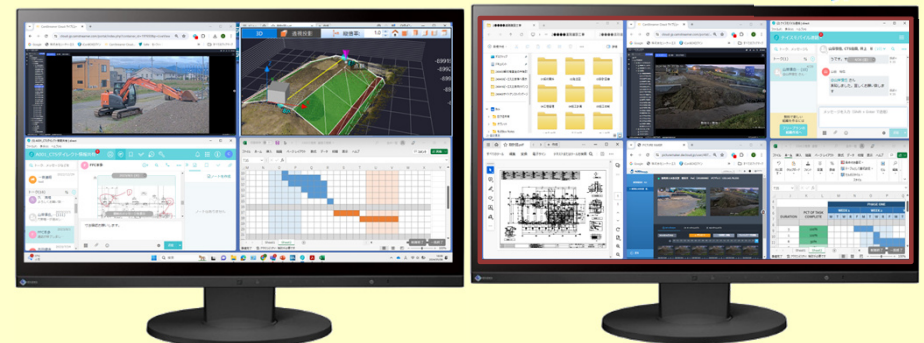
②統合したいデータ・情報・アプリを選択しテンプレート化



③ワンクリックでデータ・情報を統合したダッシュボードを複数の関係者へ提供可能

ダッシュボードで扱えるコンテンツ種類

- ・クラウドストレージの任意のフォルダやファイル
工事データ（図面・工程表・施工計画書・写真等）
- ・WEBブラウザベースの各種サービス
現場のライブ映像／遠隔臨場／IoTサービス等
- ・施工管理系アプリケーション
3次元設計データ BIM/CIMデータ 写真・出来形管理等
- ・コミュニケーションツール



中期経営計画 —中期経営方針（何を）— ①現場情報共有プラットフォーム

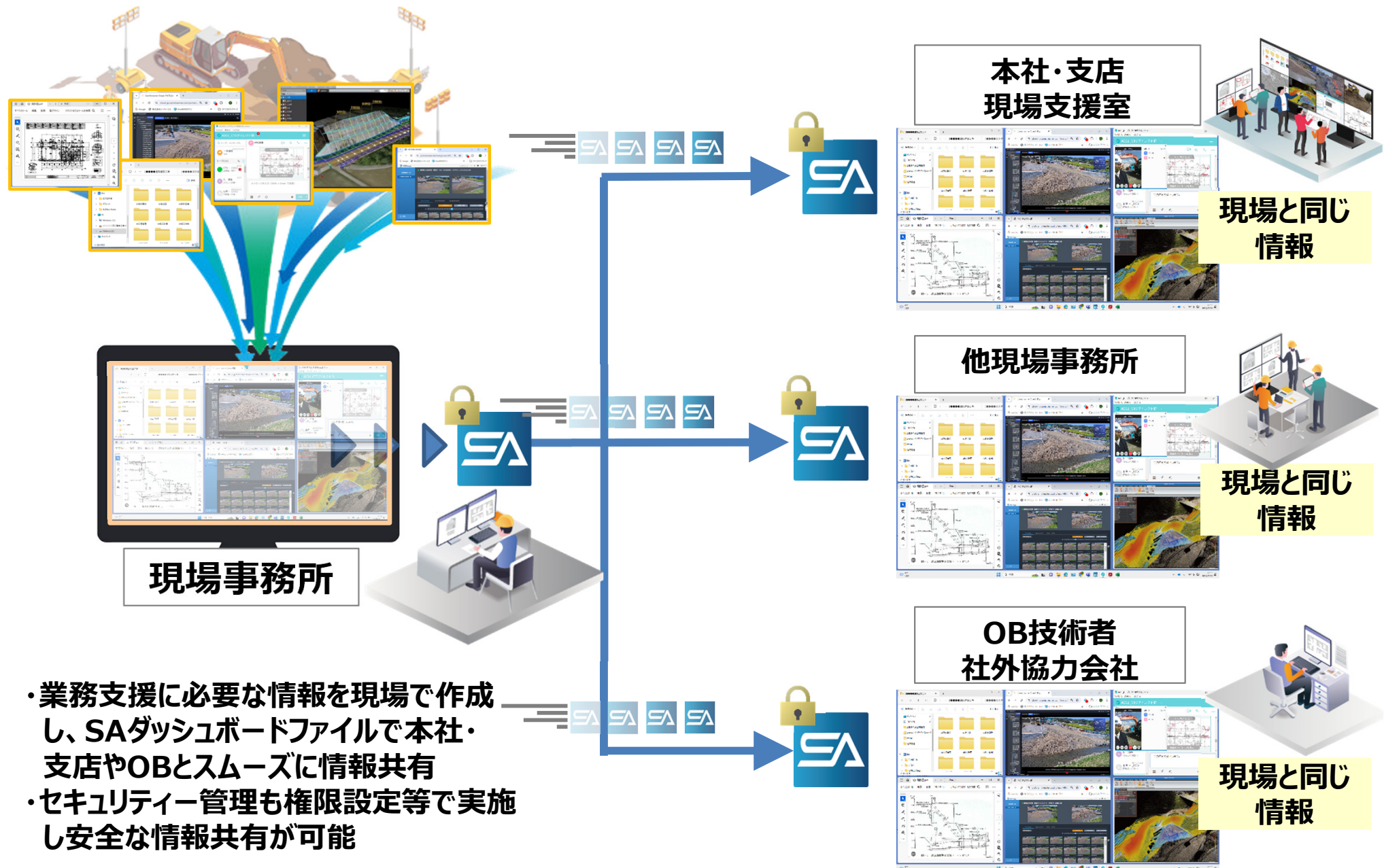
▶ SAダッシュボード活用イメージ

The collage displays six different software interfaces used in construction management:

- ドキュメント情報 (Document Information):** A file management interface showing folders like '01契約関係' (Contract Relationship), '02発注図' (Ordering Drawing), and '03設計図書' (Design Documents). It features the 'fileforce For Construction' logo.
- ライブ映像情報 (Live Video Information):** A live video feed of a construction site with the 'CAMSTREAMER' logo.
- コミュニケーションツール (Communication Tool):** A messaging interface showing a chat window with a contact named '久 清隆' (Kuniki Kiyotaka) and a drawing with annotations. It includes the 'direct ダイレクト' logo.
- 設計情報 (Design Information):** A technical drawing of a cross-section of a river crossing, labeled '図-8 越流部標準断面図' (Figure 8: Standard Cross-section of the Overflow Section). It features the 'fileforce For Construction' logo.
- タイムラプス情報 (Time-lapse Information):** A time-lapse video of a construction site with the 'PictureMaker' logo.
- 施工管理情報 (Construction Management Information):** A 3D visualization of a construction site with color-coded areas representing different stages or types of work.

中期経営計画 —中期経営方針（何を）— ①現場情報共有プラットフォーム

▶ SAダッシュボード活用イメージ



中期経営計画 ―中期経営方針（何を）― ②現場情報関連コンテンツ

▶ ②現場情報関連コンテンツ

PBコンテンツ

カテゴリ	サービス名	概要	特記事項	提供形態
クラウドストレージ		すべての工事データファイルの保存・共有・活用	資本業務提携	サブスク
		Fileforce for Constructionの工事期間レンタルサービス		レンタル
クラウド映像 (知覚情報の9割)		フルHD対応のライブ映像&クラウド録画サービス	日本国内代理店	レンタル
		映像施工記録となる全工程のタイムラプス動画サービス	資本業務提携 NETIS取得（2023/7）	レンタル
		顔認証による現場の入退場管理（CCUS連携）	資本業務提携 CCUS連携 NETIS取得（2024/2）	レンタル
IoT連携		AIカメラとIoT機器をつないだ安全・品質・防犯管理	資本業務提携 2024/1 サービス開始	レンタル

協業コンテンツ

カテゴリ	サービス名	概要	メーカー	提供形態
コミュニケーション		現場向けビジネスチャット	LisB	サブスク
施工管理系アプリ		普段使いをサポートするBIM/CIMコミュニケーションシステム	福井コンピュータ	販売
		i-Constructionを強力に支援する3D点群処理システム	福井コンピュータ	販売

中期経営計画 —中期経営方針（何を）— ②現場情報関連コンテンツ

▶ SAダッシュボード + 情報関連コンテンツ掲載イメージ

The collage displays six different digital tools used in construction management:

- ドキュメント情報 (Document Information):** A screenshot of a file management interface showing folders like '01契約関係' (Contract Relationship), '02発注図' (Ordering Drawing), '03設計図書' (Design Documents), '04工程管理' (Construction Management), '04施工計画' (Construction Plan), and '05施工体制' (Construction Organization). The 'fileforce For Construction' logo is visible.
- ライブ映像情報 (Live Video Information):** A screenshot of a live video stream from a construction site, showing a large excavation. The 'CAMSTREAMER' logo is visible.
- コミュニケーションツール (Communication Tool):** A screenshot of a communication tool interface showing a chat window with a message from '久 清隆' (Kiyotaka Kiyoshi) and a drawing with annotations. The 'direct ダイレクト' logo is visible.
- 設計情報 (Design Information):** A screenshot of a design drawing showing a cross-section of a riverbed. The 'fileforce For Construction' logo is visible.
- タイムラプス情報 (Time-lapse Information):** A screenshot of a time-lapse video showing the progress of a construction site. The 'PictureMaker' logo is visible.
- 施工管理情報 (Construction Management Information):** A screenshot of a 3D model of a construction site, showing the layout of the project. The 'fileforce For Construction' logo is visible.

▶ ③現場支援室構築サービスとは

「SAダッシュボード」・「現場情報関連コンテンツ」とともに、モニタ等のハードウェア及び通信・ネットワーク等も提供することで、パッケージとしての提案が可能

8画面連結パッケージ

大規模な支援環境構築



4画面連結パッケージ

小～中規模な支援環境構築



現場向けパッケージ

現場事務所向けマルチ機能ディスプレイ等



本社支援室などの他、現場事務所環境も構築支援することでより連携がスムーズに

▶ サイトアシストパッケージ活用イメージ

①プラットフォーム + ②コンテンツ + ③構築サービス



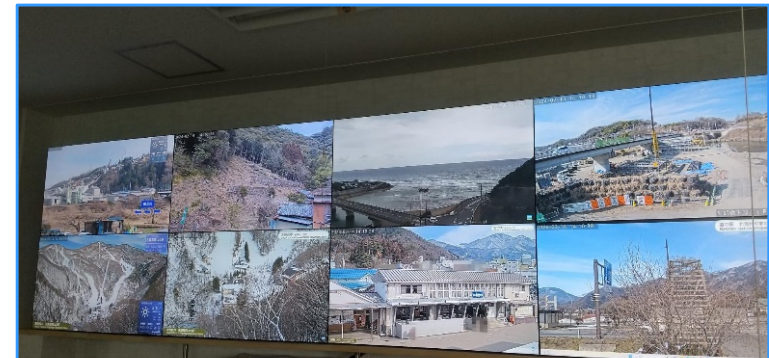
▶ サイトアシストパッケージ導入・現場支援室構築事例

現場支援室の環境構築を支援



その他サービス導入状況

- FFC契約
- ネットワークカメラBtoB契約



活用① ネットワークカメラで8現場の情報を一元管理し常に状況を把握（問題箇所把握）



活用② 1現場のライブ映像、図面、工程表、タスク管理表を共有し、工程会議にて現場支援を実施

Ⅲ. 参考資料

▶ デジタルデータサービス事業を主力事業として全国展開

DDS

「サイトアシストパッケージ」の提案

- 遠隔地からの現場支援に必要な現場情報関連コンテンツを提供するプラットフォーム「サイトアシストダッシュボード」（以下SAダッシュボード）の提供
- クラウドストレージサービス・クラウド映像サービス等、「SAダッシュボード」と連携し、プラットフォームを充実する現場情報関連コンテンツの提供
- 「SAダッシュボード」・コンテンツとともに現場支援室の設置・導入支援等

SMS

測量計測システム等の提案

- MDTS・GNSS等によるワンマン測量システムをレンタルで提供
- その他測量計測機器・関連システム等の提供

その他 (地域限定)

- IT環境を含めた建設現場向けユニットハウス「スマートハウス」をレンタルで提供
- 道路の標識・白線設置などの専門工事

CTSの果たす役割と強み — 参考資料 —

▶ CTSの使命：全国の建設業・建設現場を支援

全国の建設業・建設現場

- 建設業は日本を支える地場産業
- 建設業の活性化は、道路をはじめとした社会インフラ等の維持・発展と一体

建設現場の課題

- 少子高齢化などにより労働力不足が深刻
- 有期で毎回異なる仕事環境から、生産性を高める業務環境を構築しにくい

CTSはICTで建設現場の課題を解決

CTSの強み

- ① 建設業・建設現場に特化したICT支援で現場の生産性を向上
- ② レンタル利用で導入コストが低い/短期現場でも使いやすい/資源消費の省力化に貢献
- ③ 全国ネットワークで全国の建設現場を個別・トータルでサポート/全国で安定した品質

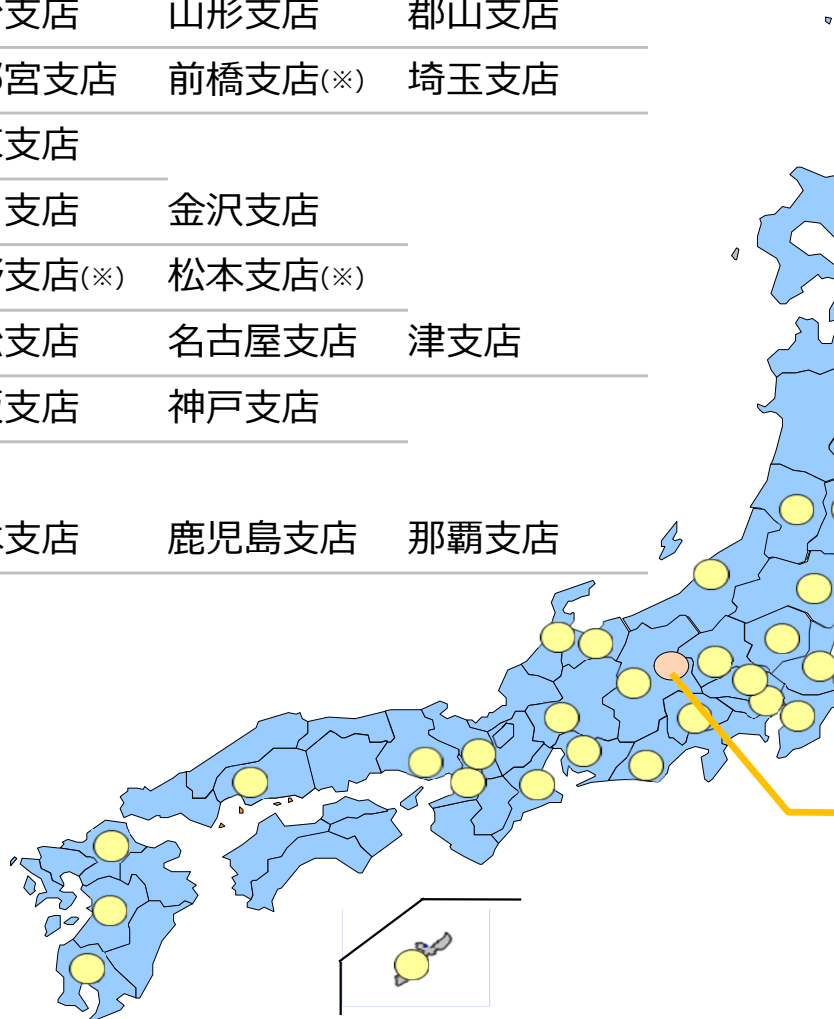
建設業の支援を通じて、持続可能な社会基盤の構築に貢献

全国ネットワーク — 参考資料 —

- ▶ 現在全国に31支店を展開
- ▶ デジタル機器/測量機器 管理センターにより全国でのレンタル提案を支援

北海エリア	札幌支店	旭川支店	帯広支店	
東北エリア	盛岡支店	仙台支店	山形支店	郡山支店
関東エリア	水戸支店	宇都宮支店	前橋支店(※)	埼玉支店
	千葉支店	東京支店		
北陸エリア	新潟支店(※)	富山支店	金沢支店	
甲信エリア	甲府支店(※)	長野支店(※)	松本支店(※)	
東海エリア	岐阜支店	浜松支店	名古屋支店	津支店
近畿エリア	京都支店	大阪支店	神戸支店	
中国エリア	広島支店			
九州・沖縄エリア	福岡支店	熊本支店	鹿児島支店	那覇支店

※ SH取扱い支店



サステナビリティについて — 参考資料 —

- ▶ ESG・SDGsの観点から、当社の事業方針を説明
- ▶ 持続可能性は事業の前提・SDGsは事業活動の延長線上でその一部へ貢献



詳細は当社ホームページ「サステナビリティについて」の項をご参照ください。

<https://www.cts-h.co.jp/company/sustainability/>

主なリリース – 参考資料 –

発表日	リリース区分	内容
2024年7月31日	株式	自己株式の消却に関するお知らせ
2024年6月17日	株式	自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得結果及び取得終了に関するお知らせ
2024年6月14日	株式	自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ
2024年5月9日	事業	現場情報共有プラットフォーム「サイトアシストダッシュボード」リリースのお知らせ
2024年4月30日	株式	自己株式の消却に関するお知らせ
2024年3月22日	事業	顔認証入退管理システム「DAILYe（デイリー）」がNETISに登録されました
2024年3月15日	組織	九州エリアの営業部統合に関するお知らせ
2024年3月1日	事業	クラウド録画サービス『CAMSTREAMER Cloud』の日本国内専用サーバを設置しサービス提供を開始しました
2024年2月7日	事業	転圧管理システム「Geo-Press Cloud」がNETISに登録されました
2024年1月31日	配当予想	配当政策の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ
2024年1月31日	方針	2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ
2023年12月12日	事業	「D.E.IoT SmartHub」2024年1月のリリースに関するお知らせ
2023年12月7日	その他	全社員を対象とした給与水準の引き上げに関するお知らせ
2023年9月1日	組織	経営組織機構の変更及び取締役の管掌変更に関するお知らせ
2023年7月25日	事業	建設現場の人手不足を解消し働き方改革を推進する新サービス「サイトアシスト」リリースに関するお知らせ
2023年7月5日	事業	タイムラプス動画自動作成システム「PictureMaker」がNETIS登録されました
2023年6月30日	事業	測量機器の点検・調整・修理・校正サービスに関する特設サイトを開設しました
2023年5月15日	事業	現場端末システム「Mr.Samurai 3D」がNETIS登録されました
2023年4月28日	その他	中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）策定に関するお知らせ
2023年4月12日	事業	ファイルフォース株式会社の第三者割当増資に対する東日本電信電話株式会社との共同出資完了のお知らせ

株式情報(2024年9月30日現在) — 参考資料 —

発行済株式数	42,000,000株
株主数	7,452名

大株主上位 10 名	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(※)
有限会社横島	16,000,000	38.1%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,839,600	9.2%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,759,200	4.2%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	1,075,534	2.6%
株式会社八十二銀行	835,200	2.0%
K I A F U N D 1 3 6	774,800	1.8%
光通信株式会社	735,500	1.8%
GOVERNMENT OF NORWAY (ノルウェー政府年金基金)	689,061	1.6%
猪股和典	666,000	1.6%
株式会社三井住友銀行	640,000	1.5%
計	27,014,895	64.4%

所有株式数別状況	株主数 (名)	持株数 (株)	株主 構成比	持株 構成比
100株未満	1,585	22,510	21.3%	0.1%
100株以上500株未満	3,887	646,744	52.2%	1.5%
500株以上1,000株未満	643	393,880	8.6%	0.9%
1,000株以上5,000株未満	928	1,793,910	12.5%	4.3%
5,000株以上10,000株未満	157	1,097,773	2.1%	2.6%
10,000株以上50,000株未満	182	3,752,897	2.4%	8.9%
50,000株以上100,000株未満	35	2,522,808	0.5%	6.0%
100,000株以上500,000株未満	24	4,208,183	0.3%	10.0%
500,000株以上	11	27,561,295	0.1%	65.7%

所有者別株式分布状況	株主数 (名)	持株数 (株)	株主 構成比	持株 構成比
個人・その他	7,261	10,842,759	97.4%	25.8%
金融機関	12	7,548,200	0.2%	18.0%
その他の法人	47	17,041,000	0.6%	40.6%
外国法人等	104	6,005,465	1.4%	14.3%
金融商品取引業者	27	515,731	0.4%	1.2%
自己名義株式	1	46,845	0.0%	0.1%

※自己株式46,845株は上記から除いております。

※発行済株式総数から自己株式46,845株を除き所有株式数の割合を計算しております。

※2024年5月15日付で自己株式1,000,000株の消却、2024年6月17日付で自己株式426,000株の取得及び2024年8月8日付で自己株式400,000株の消却を行っております。

- ▶ 当中期経営計画期間（2024年3月期～2026年3月期）においては、累進配当方針を採用

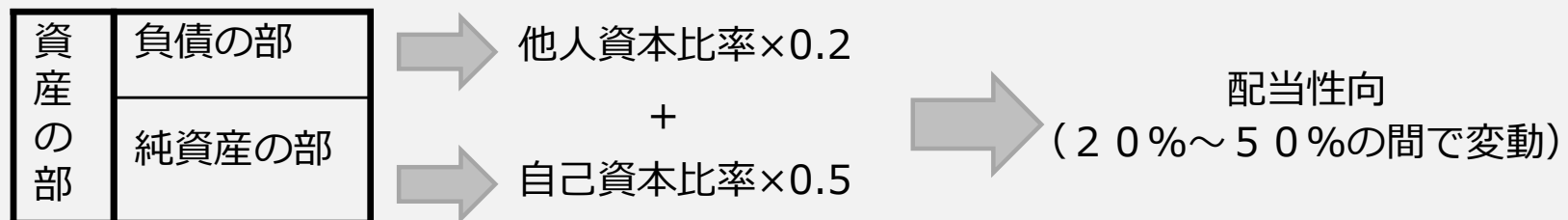
一株当たり配当金について

「前期の水準（記念配当などを除く）に対して維持又は増配」

- 事業形態の転換に取り組む中、それによって配当金額が変動することは、業績連動の趣旨と異なるため

※従来の配当方針

$$\text{配当性向} = \text{自己資本比率} \times 0.5 + (1 - \text{自己資本比率}) \times 0.2$$



- 配当金総額 = 当期純利益 × 配当性向 - 中間配当金総額
- 1株当たり期末配当金 = 配当金総額 ÷ 発行済株式総数

本資料における注記事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、戦略、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた判断に基づいております。経済、競合状況にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合があります。

※各業績数値及び増減額等については、単位未満を切り捨てて表示しております。

※増減率等については、小数点第二位を四捨五入して表示しております。



株式会社 シーティーエス

投資家情報のほか、会社概要、製品情報やニュースなど、シーティーエスに関する様々な情報がご覧いただけます

<https://www.cts-h.co.jp/>

